

人間健康福祉学部 of 設置計画履行状況 (平成23年5月13日 文部科学省報告 抄)

平成20年4月に設置した聖カタリナ大学人間健康福祉学部の設置計画の履行概要については、次のとおりです。

(1) 設置計画変更事項等概要

認可時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど																																				
<p>①人間健康福祉学部の学科構成</p> <table border="0"> <tr> <td>人間健康福祉学部</td> <td>収容定員</td> <td>920</td> </tr> <tr> <td>社会福祉学科</td> <td>入学定員</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>3年次編入学定員</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>健康福祉マネジメント学科</td> <td>入学定員</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>3年次編入学定員</td> <td>10</td> </tr> </table>	人間健康福祉学部	収容定員	920	社会福祉学科	入学定員	120	〃	3年次編入学定員	10	健康福祉マネジメント学科	入学定員	100	〃	3年次編入学定員	10	<p>①人間健康福祉学部の学科構成</p> <p>人間健康福祉学部は、従来からの社会福祉学部の教育研究方針を発展的に拡大し、健康福祉社会を実現するための人材の養成を目的として平成20年4月設置し、本年度完成年度を迎えるに至った。この度、完成年度を待たず、さらなる大学の発展と継続的運営を目的として、大学の収容定員を一部減じて人間社会学科（入学定員50）を平成23年4月に設置した。</p> <table border="0"> <tr> <td>人間健康福祉学部</td> <td>収容定員</td> <td>880</td> </tr> <tr> <td>社会福祉学科</td> <td>入学定員</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>3年次編入学定員</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>健康福祉マネジメント学科</td> <td>入学定員</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>3年次編入学定員</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>人間社会学科</td> <td>入学定員</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>3年次編入学定員</td> <td>4</td> </tr> </table>	人間健康福祉学部	収容定員	880	社会福祉学科	入学定員	80	〃	3年次編入学定員	8	健康福祉マネジメント学科	入学定員	80	〃	3年次編入学定員	8	人間社会学科	入学定員	50	〃	3年次編入学定員	4
人間健康福祉学部	収容定員	920																																			
社会福祉学科	入学定員	120																																			
〃	3年次編入学定員	10																																			
健康福祉マネジメント学科	入学定員	100																																			
〃	3年次編入学定員	10																																			
人間健康福祉学部	収容定員	880																																			
社会福祉学科	入学定員	80																																			
〃	3年次編入学定員	8																																			
健康福祉マネジメント学科	入学定員	80																																			
〃	3年次編入学定員	8																																			
人間社会学科	入学定員	50																																			
〃	3年次編入学定員	4																																			
<p>②学部・学科の専任教員配置</p>	<p>②学部・学科の専任教員配置</p> <p>学部置く学科の数が増えたので、相当の教員数を増員した。</p>																																				
<p>③社会福祉専攻に置くコースの増設</p>	<p>③社会福祉専攻に置くコースの増設</p> <p>設置当初は、2コース（福祉心理コース、精神保健福祉コース）であったが、学習機会の拡充を図るため平成23年度から3コース（福祉心理コース、精神保健福祉コース、医療福祉コース）とした。</p>																																				
<p>④情報の提供</p>	<p>④情報の提供</p> <p>平成23年4月1日施行の学校教育法施行規則第172条2「大学は、次に掲げる教育研究活動等の状況についての情報を公表するものとする。」にかかる情報提供を本学広報室（平成22年10月設置）から行い、社会への説明責任を果たすことに努めている。</p>																																				

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成17年9月聖カタリナ大学FD委員会を設置（規程別添） <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）及び c 委員会の審議事項等</p> <p>1) 平成22年5月21日開催（欠席者なし） ※構成員は学長を含む教員4人 審議事項：(1)研究活動の活性化について (2)今年度の活動計画について</p> <p>2) 平成22年6月16日開催（欠席者なし） 審議事項：(1)共同研究の活動助成について (2)公開授業について</p> <p>3) 平成22年10月1日開催（欠席者なし） 短期大学部FD委員会と合同 審議事項：(1)学部年間計画について (2)聖カタリナ大学研究叢書について (3)FD研修会(学内)の講演者の決定</p> <p>4) 平成22年11月16日開催（欠席者なし） 審議事項：(1)研究叢書出版に関する規程のについて (2)研究叢書の出版企画提案について (3)平成23年度予算について</p> <p>5) 平成23年2月15日開催（欠席者なし） 短期大学部FD委員会と合同 審議事項：(1)研究叢書の査読について (2)新任教員研修について (3)学内FD研修会について (4)研修プログラム2011の掲載内容について (5)受講マナーについて</p>

② 実施状況

a 実施内容 b 実施方法 c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ FD活動の啓発・・・「授業の道具箱（東海大学出版会）」、「大学教員のための授業方法とデザイン（佐藤浩章著）」を全教員に配付
- ・ 新任教員研修・・・ 4月26日、新任教員3名に対し本学の建学の精神、教育理念等について学長が、その後教務課、会計課、総務課が事務手続き等について研修を行った。
- ・ 公開授業・・・（前学期6月1日～30日、後学期11月1日～30日）
本学及び併設短大の教職員並びに本学学生の保護者を対象に行い、「公開授業コメントシート」の提出を依頼。
授業参観延べ人数は、前学期18人、後学期12人であり、コメントシートの提出は前学期14名で18枚、後学期11名で12枚であった。
- ・ SPOD（四国地区大学教職員能力開発ネットワーク）への参加・・・
「教員主導・学生主体の授業の進め方」に教員2名参加（8月26日 愛媛大学）
SPODのFDプログラム「授業デザインワークショップ」に新任教員2名参加（9月1,2日 国立大洲青少年交流の家）
「Eラーニング活用ワークショップ」に教員1名参加（10月9日 愛媛大学）
SPOD総会、会議、FD分科会にFD委員長が参加（愛媛大学）
- ・ 学生による授業評価・・・（前学期7月5日～23日、後学期1月20日～2月9日）
授業の改善と教育力向上を目的として例年通り学生による授業評価アンケートを実施
- ・ 「聖カタリナ大学研究叢書」の出版に関する規程を制定（7月9日施行）
- ・ 共同研究の実施状況調査・・・全教員に対して「共同研究の実施状況調査について」を依頼
- ・ 学内FD研修会の開催・・・
 - 1）人間文化研究所との共催による学内研修会（7月23日）・・・人間文化研究所フォーラムの中に教員2名による「私の研究生生活」と「科研費の話」と題して実施
 - 2）公開授業「社会福祉援助技術演習Ⅲの実際—実習学生提出事例を用いた演習の試み—」を実施
社会福祉専門関連の教育力向上を目的として実施した。参加教員15名
 - 3）「話し方／プレゼンテーションの基本」の講演を愛媛大学教育企画室副室長 佐藤浩章氏によって実施
授業改善に繋がる内容の研修であった。参加教職員32名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ FD活動の啓発は教員に2冊の書籍を配付し、今後授業等に活用しその成果が認められるものと期待している。
- ・ 新任教員研修は今後も年度初めに実施するが、SPODの新任教員対象「新任教員FDワークショップ」等のFDプログラムを受講させる。
- ・ 公開授業は、短期大学部との相互授業参観（公開授業）を実施しているが、大学の実施期間（11月）と短期大学部の実施期間の調整ができていなかった。公開授業の期間中は、開講科目を自由に参観できるよう広報を徹底する。
- ・ SPODへの参加は、教員のSPODフォーラム2011への積極的な参加を促す。
- ・ 学生による授業評価は、昨年度までの学生評価に対し各教員が点検と改善を行ったため、一定の評価を保つことができた。授業の改善と教育力向上に、全学的な支援体制を一層整備強化する。
- ・ 聖カタリナ大学研究叢書は、申請者が「出版計画提案書」を作成し、FD委員会へ提出することとなった。今後査読から出版に至るまでの流れとその方策について注視する。
- ・ 共同研究の実施状況調査は、今後も研究活動を支援するための企画を立案する。支援体制として「聖カタリナ大学研究叢書」の出版に関して教員が積極的に投稿できるように検討する。
- ・ 学内FD研修会の開催は、「研究活動の活性化や科学研究費等競争的資金獲得の支援」については一定の成果がみられたものと考えられる。今後、多くの教員が積極的に参加出来るような演題、開催時期等を調整しながら継続させる。

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

聖カタリナ大学の社会福祉学部は、今まで以上に健康やスポーツに関わる教育研究の充実を図る必要があるとの認識に立ち、平成20年4月1日に「人間健康福祉学部」として改編した。

このことは、今までの福祉に関する教育研究を継承しながらも、健康やスポーツに関する教育研究を充実・強化し、心身の健康や健全な発達、成人の生活習慣病やメタボリックシンドロームの予防や改善、高齢者の介護予防や生活の質の向上、スポーツや運動を通じた健康づくりや生き甲斐づくり、健康やスポーツに関わる事業のマネジメント等に関する教育研究の充実強化を目指すものであった。

こうして、平成20年4月に人間健康福祉学部としての一歩を踏み出したが、「社会福祉士・介護福祉士法」の改正を受け、21年4月入学生から適用するカリキュラム変更を余儀なくされ、届け出から1年後には教育課程を変更することになった。

しかしながら、設置の趣旨に示す、教育研究の目的、人材養成の目的、教育課程編成の方針については、一貫した姿勢を保ち変わることなく教育を遂行してきている。

また、福祉の中でも新しい分野の教育研究であることから、専門演習の充実の他、インターンシップ等を積極的に取り入れ、特に就職に関しては、本年が人間健康福祉学部一期生の最終学年となることから学部教職員が一丸となり、広い分野への支援に取り組んでいる。新学部を設置した頃から福祉現場の待遇面がマスコミにも取り上げられ、福祉業務への若者離れが進み、福祉系学部への進学者も激減し、本学にあっても、改編時から本年度まで定員を充足させることが出来なかったが、平成23年4月の学部の改組の結果、回復傾向が見られ、今後の福祉の動向を注視し、社会のニーズに合わせたカリキュラムの充実と学生のキャリア支援を、中心にした教育力の充実により、定員の確保に最善の努力を行う。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成22年5月末日 公表

b 公表方法

1. 自己点検・評価報告書を刊行し、行政機関、高等教育機関へ送付
2. 大学ホームページ上に公開（平成22年5月末日）
3. 本学附属図書館に置き、利用者の閲覧に供する。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成21年3月12日大学基準協会が定める大学基準に適合していると認定された。認定期間は、平成27年3月31日
- ・平成26年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中